

県政報告

2025.3 VOI.04

温故創新
新し
ぎ
岐
へい
うせ
和博

長崎県議会議員
うせ和博



うせ和博事務所

〒811-5132 長崎県杵岐市
郷ノ浦町東触 649-1
TEL0920-47-6858
FAX0920-40-0515
E-mail:koukai2022@ikishima.jp

令和6年予算決算委員会質疑
2月定例会



鶴瀬 和博
(自由民主党) 杵岐市選出

長崎県議会2月定例議会 予算決算委員会

1、文化観光振興について

【鶴瀬】子どもたちが音楽、演劇、ダンス、絵画、アニメーションなどの文化芸術を体験することは、豊かな感性、想像力、思考力、コミュニケーション能力を育むとともに、将来の芸術家や優れた文化芸術の創造につながります。また、文化芸術活動は人々に感動や

生きる喜びをもたらすだけなく、社会全体を活性化させる上で重要な役割を果たします。私の地元、杵岐においても、一支国博物館では企画展や子ども向けのイベントが活発に行われています。2月21日には、ANAあきんど株式会社と武蔵野美術大学、杵岐市と連携した滞在型観光促進プロジェクト事業で、公開制作やアートワークショップが家族連れでにぎわいました。

しかし、過疎化や少子・高齢化の進展により、特に離島や過疎地域では指導者や活動そのものが減少し、子どもたちが文化芸術を体験できる機会が減少すること懸念されます。このような中、県では来年度の新規事業として、長崎未来のアーティスト応援事業により、子どもたちにおよぶような支援を行うお尋ねをいたします。

【文化観光国際部長】県内のどこに任んでいても、子どもたちが音楽や美術などの優れた文化芸術に触れる機会を持つことは非常に重要です。そのため、県では以下の取り組みを行っています。専門家の派遣、離島や過疎地域を対象に、市町や文化団体と連携し、子どもたちのニーズを調査した上で、興味関心が高い分野の専門家を派遣し、指導を受ける機会を提供します。

【鶴瀬】感性は様々な体験を通じて少しずつ育まれるもので、豊かな体験が欠かせません。また、保護者や大人が発表の場で子どもと感動を共感することも重要です。

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【文化観光国際部長】食の魅力を活かした観光客の取り組みは、観光客に欠かせないコンテンツであり、県内外に向けて本県の食の魅力を知ってもらうことが重要です。県では、地域の魅力的な食を活かした旅行商品の作成・販売支援や、SNSやテレビ番組を活用した情報発信に取り組み、食の認知度向上を図ってまいりました。来年度は、発信力を持つ民間事業者と連携し、多くの会員向けに本県の食や観光の魅力を発信する予定です。今後、市町や関係事業者と連携し、食の魅力発信や食と観光を組み合わせた旅行商品の作成支援に努め、県への誘客をさらに促進してまいります。

【鶴瀬】各市町が開催する様々なイベント情報を県と共有し、連携して効果的かつ効果的な食を活かした事業に取り組むことで、地域ならではの食や食文化を楽しむ「フードツーリズム」を推進します。これにより、地域振興や観光客の誘致、食のブランド力の再興を促す観光誘客プロジェクトの推進に期待されます。県では、観光誘客プロジェクトの推進に期待されます。県では、観光誘客プロジェクトの推進に期待されます。

【文化観光国際部長】県では、宿泊事業者の人手不足解消に向けて、来年度から長崎県旅館ホテル生活衛生同業組合が窓口となり、外国人インターンシップ受入れへの支援を行います。具体的には、アジア圏を中心とした海外大学からのインターンシップ生受入れに必要な教育機関との契約締結や入国手続きのサポートにかかわる経費の一部を支援

【地域振興部政策監】雇用の機会拡充事業など、国の施策を活用し、しまの魅力を素材を活かした新たな事業創出や産品振興を促進する必要があります。離島のビジネスコンテスト、しまのビジネスチャレンジング促進事業の取組内容について、お尋ねをいたします。

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、

【鶴瀬】食は旅の重要な目的の一つであり、長崎県は肉、魚、野菜など豊富な食材を有しているため、観光客にとってのポテンシャルが高いと考えられます。例えば、



離島甲子園杵岐大会 大会セレモニー



杵岐市消防出初式



健康長寿日本一長崎県民会議表彰式

したイベントを実施し、関係部局や市町と連携して、しまへの新たなチャレンジと呼び込むことを目指しています。

【鵜瀬】1月20日に長崎県庁の1階エントランスホールで開催された「第1回しまのビジネスコンテスト」に出席しました。しまの地域課題解決や資源を活用した素晴らしいアイデアが多く見られました。今後、各アイデアのブラッシュアップや実現に向けた民間資本とのマッチング、有人国境離島法の雇用機会拡充事業などを通じて、離島の新たな魅力となるよう引き続き支援をよろしくお願いたします。

②しまの産品振興について

【鵜瀬】本県の離島は新鮮な海の幸など豊富な食材の宝庫です。これらの産品を島外に売り込み、多くの人に知ってもらうことが重要です。しまの産品ステッパアップ推進事業の実績と取組内容についてお尋ねします。

【地域振興部政策監】しまの産品の島外への販路拡大を図るた



離島半島地域振興特別委員会視察（北海道奥尻島）

3、水産業の振興について

【鵜瀬】国内の水産物需要が縮小する一方、世界的な需要は急増しています。資源変動の影響を受けにくく、海外市場に安定供給できる養殖業は成長の可能性が高い産業です。しかし、本県の養殖業は小規模・零細企業が多く、餌や資材価格の高騰など、生産者の努力だけでは解決できない課題もあります。

【水産部長】本県養殖業を成長産業とするためには、輸出を視野に入れた経営規模の拡大が必要です。県は養殖産地の育成や沖合化実証試験に取り組みを進め、高騰、他県産との競争力向上のための技術開発も必要です。収益性向上のためのコスト削減や新魚種の導入をテーマに、民間企業と連携して技術開発実証を推進し、技術の普及を図ることで、養殖業の成長産業化を目指します。

【水産部長】本県は豊富な魚種を水揚げしていますが、多くが県外に出荷され、地域内の宿泊施設や飲食店に安定供給されていません。観光客に訴求できる魚種を「推し魚」として選定し、旅行商品やPRに活用することによって観光需要を喚起し、交流人口の拡大を図ります。また、推し魚以外の魚種も含めて販売促進に取り組み、地域関係者の所得向上を目指します。



壱岐市公民館大会

4、土木行政について

【鵜瀬】令和6年1月1日に発生した能登半島地震により犠牲者となられた方々に深く哀悼の意を表し、負傷された方や被災された方々にお見舞い申し上げます。地震による甚大な被害を受け、早急な対策の必要性を再認識しました。

【土木部長】県管理河川では、令和2年度から4年間で約54億円を投じ、緊急性の高い481か所で浚渫や樹木の伐採を実施しました。壱岐市内では約1億2000万円を使い、16か所で事業を行い、豪雨災害に備えています。今後治水安全度の向上のため、予算の安定確保を国に要望します。

【土木部長】土木部では、防災・減災、国土強靭化のために127.2億円の予算を確保し、壱岐市の坪トンネルの本体工事の完成が早まるように事業が大幅に進捗しています。国は国土強靭化基本法を改正し、今後も計画的に推進する方針を示しています。県は引き続き、地域の実情を訴え、必要な予算の

確保を求めています。

【鵜瀬】緊急浚渫推進事業費の確保について、壱岐市の管理河川では、土砂の堆積や樹木の繁茂が大雨時の被害を懸念させています。国の緊急浚渫推進事業費を活用し、堆積土砂の除去などの対策が行われています。度までの期限です。地域住民が安全に暮らせる環境を保つためにも、継続的な事業実施が必要で、県内および壱岐市内の浚渫工事の実施状況と今後の取組方針についてお尋ねします。

【土木部長】昨年12月施行の改正空き家法により、市町は空き家問題に取り組みする民間団体を「空き家等管理活用支援法人」に指定できるようになりました。県は市町と連携し、支援法人が行う空き家の相談対応や改修工事等の費用を支援していきます。

【土木部長】令和4年3月に国の地震調査研究推進本部が壱岐沖、対馬沖、五島沖の活断層の長期評価を公表しました。評価を公表しました。地質調査では、これらの活断層による地震の震度分布や津波浸水予測を調査し、その結果を基に詳細な被害予測調査を行います。令和7年度以降に地域防災計画の見直しに反映させる予定です。



石木ダム視察

【土木部長】令和6年度は、防災・減災、国土強靭化対策の予算確保、及び緊急浚渫推進事業費の継続に向けて、国へしっかりと要望します。

【土木部長】今年12月施行の改正空き家法により、市町は空き家問題に取り組みする民間団体を「空き家等管理活用支援法人」に指定できるようになりました。県は市町と連携し、支援法人が行う空き家の相談対応や改修工事等の費用を支援していきます。



自民党県議団韓国視察（ソウル市議会）

5、防災対策・救急体制について

【鵜瀬】能登半島地震では壱岐・対馬でも津波注意報が発令されました。令和3年3月には壱岐沖、対馬沖、五島沖の活断層の長期評価が公表されましたが、被害が心配されています。

【危機管理部長】令和4年3月に国の地震調査研究推進本部が壱岐沖、対馬沖、五島沖の活断層の長期評価を公表しました。地質調査では、これらの活断層による地震の震度分布や津波浸水予測を調査し、その結果を基に詳細な被害予測調査を行います。令和7年度以降に地域防災計画の見直しに反映させる予定です。

【鵜瀬】自然災害の頻

(1)地震アセスメント調査について

【鵜瀬】能登半島地震では壱岐・対馬でも津波注意報が発令されました。令和3年3月には壱岐沖、対馬沖、五島沖の活断層の長期評価が公表されましたが、被害が心配されています。

【危機管理部長】令和4年3月に国の地震調査研究推進本部が壱岐沖、対馬沖、五島沖の活断層の長期評価を公表しました。地質調査では、これらの活断層による地震の震度分布や津波浸水予測を調査し、その結果を基に詳細な被害予測調査を行います。令和7年度以降に地域防災計画の見直しに反映させる予定です。

【危機管理部長】令和4年3月に国の地震調査研究推進本部が壱岐沖、対馬沖、五島沖の活断層の長期評価を公表しました。地質調査では、これらの活断層による地震の震度分布や津波浸水予測を調査し、その結果を基に詳細な被害予測調査を行います。令和7年度以降に地域防災計画の見直しに反映させる予定です。

(2)救急安心センター事業費（#7119）について

【鵜瀬】新型コロナウイルスや熱中症の影響で緊急対応が逼迫し、適切な救急車の利用が課題となっています。また、救急車を呼ぶことをためらう傾向もあり、急変や重篤化のリスクが懸念されています。救急安心センター（#7119）に相談することで、これらの課題が軽減されると考えられますが、具体的な導入効果について教えてください。

【危機管理部長】救急安心センター事業（#7119）は、救急車の到着が遅れる場合に、病室に行くべきか救急車を呼ぶべきかを電話で相談できるサービス

【危機管理部長】救急安心センター（#7119）の導入は、救急車の適正利用や救急医療機関の受診の適正化に重要です。しかし、県民に知ってもらうことが必要です。周知広報が重要と考えます。周知広報が重要と考えます。周知広報が重要と考えます。

【危機管理部長】事業効果が高めるため、県民に知ってもらうことが重要です。市町と連携し、ポスターや広報素材を作成し、公共施設やイベントで周知します。また、公式ホームページやSNS、広報誌を活用し、医療機関の待合室でも周知を行います。さらに、医師会や福祉関係団体、経済団体を通じて幅広く周知に努めます。

【鵜瀬】あらゆる関係機関や市町と連携し、周知・広報に取り組みようお願いたします。能登半島地震では甚大な被害が発生し、インフラの損傷や物資運搬の課題が浮き彫りになりました。長崎県も地形が似ているため、同様の課題が見えてきたと思えます。これらの課題を検証し、防災対策の見直しを進め、県民の安全・安心の確保に全力で取り組んでいただくとともに、強く要望して私の質問を終わります。

